

年間授業計画

足立東 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 総合 科目 人間と社会

教科： 総合 科目： 人間と社会 単位数： 単位
対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組
教科担当者： A 堀切・豊田 B 北浦・野崎 C 武居・吉田 D 川尻・村岡 E 坂・金子 F 松村・高安
使用教科書：「人間としての在り方生き方に関する教科『人間と社会』改訂版教科書」（東京都教育委員会）
教科 人間と社会 の目標：

- 【知識及び技能】予測できない社会の変化や課題解決に向けて、必要な知識を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】情報を収集し、分析し、多角的・多面的に考察する力や、それを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】人間としての在り方や生き方に対する自覚を深め、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自己と実生活や実社会との関わりから新しい課題を自ら見いだしたり、考察に必要な知識を身に付けたり、情報を整理・分析したりすることや、解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりするなどの技能を身に	他者との交流や討論の振り返りを通して、これまでもっていた課題を深めたり、新たに情報を集め整理・分析したり、新しい知識を得たりすることによって、意見や考えが深まる。このことによって課題発見、課題解決の力を身に付け	集団活動の中で、人間としての在り方生き方に対する自覚を深めるとともに、社会の中で自己のよさや可能性を生かす力、前向きに自己の将来を設計する態度を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	○「人間と社会」を考える。 【知】「人間と社会」の学ぶ目的を理解させる。 【思】「人間と社会」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身に付けさせる。 【態】「人間と社会」で学ぶ目的を理解し、主体的に行動する態度を育成する。 ○学習の視点を考える。 【知】「何を大切にして、どのように生きるか」について、自分なりの判断基準を見直すことができる。 【思】他者との関わりを通して自己の判断基準を高めることができる。 【態】判断基準に従って行動させる。	○ガイダンス【全体会】 ○「人間と社会」～序章～ ・「人間と社会」の学習を通して、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 ・「大切にしたいこと」について考える活動を通して、自分自身や他者を理解しようとする態度を養う。 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知】課題の達成状況 (ワークの記述量, 記述内容等) 【思】課題の取り組み状況 (ワークシート情報の収集・整理・分析・他者への伝達 等) 【態】授業への参加状況 (課題への取り組み状況、協働作業の協力度・行動観察・出席状況・提出物等)	○	○	○	1
	6 クラス6 展開 A～Fの6ペアの指導者が、3～4項目を取り扱い、3時間づつ各クラスを指導する。 【知】各項目に於いて、自己と実生活や実社会との関わりから新しい課題を自ら見いだしたり、考察に必要な知識を身に付けたり、情報を整理・分析したりすることや、解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりするなどの技能を身に付けさせる。	○選択し、行動する ○自然と人間の関わり ○グローバル化が進展する社会 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	3
	【思】各項目で、グループワーク等の共同作業や他者との交流や討論の振り返りを通して、これまでもっていた課題を深めたり、新たに情報を集め整理・分析したり、新しい知識を得たりすることによって、意見や考えが深まる。このことによって課題発見、課題解決の力を身に付けさせる。	○お金の意義 ○消費者市民社会 ○主権者・成年としての権利と責任 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	3
	【態】各項目で、グループワーク等の共同作業や他者との交流や討論の振り返りを通して、これまでもっていた課題を深めたり、新たに情報を集め整理・分析したり、新しい知識を得たりすることによって、意見や考えが深まる。このことによって課題発見、課題解決の力を身に付けさせる。	○学ぶことの意義 ○働くことの意義 ○支え合う社会 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	3
	【態】各項目で、集団活動の中で、人間としての在り方生き方に対する自覚を深めるとともに、社会の中で自己のよさや可能性を生かす力、前向きに自己の将来を設計する態度を育ませる。	○体験活動（12時間以上） ・科学未来館 ・防災体験 ・清掃活動 ※体験を欠席した場合には、対象者の代替する補習を行う。 ○マナーとルール ○スマートフォン時代のコミュニケーション ○科学技術と生命倫理 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	12
2 学 期				○	○	○	3

2 学 期		○役割と責任 ○チームを動かす力 ○国際平和を築く ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	3
		○人間関係を築く ○ワーク・ライフ・バランス ○地域社会を築く ○文化の多様性 ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	3
	・自立支援教育プログラムを通して予測できない社会の変化や課題解決に向けて、必要な知識やを身に付けさせ、前向きに自己の将来を設計する態度を育む。	○自立支援教育プログラム【全体会】 ・生活設計・家計管理（SMBCコンシューマーファイナンス） ・金融トラブル（SMBCコンシューマーファイナンス） ・ローン・クレジット（SMBCコンシューマーファイナンス）	○	○	○	3
	・ハローワークの講演を通して、自己と実生活や実社会との関わりからそれぞれの新生活に向けて新しい課題を自ら見いだしたり、必要な知識やを身に付けさせ、前向きに自己の将来を設計する態度を育む。	- ハローワーク講和【全体会】 - 働くことの意義 - 人間と社会まとめ	○	○	○	1
						合計 35